

令和7年フェロモントラップによるコナガ誘殺消長

農業農村支援センター、試験場で実施したフェロモントラップによる誘殺消長調査の結果です。

(農業農村支援センター調査データは7日間隔で調査したものを5日間隔に補正してあります。)

【コメント】

多くの地点で平年と比べ多い誘殺頭数です。地点によっては、平年値の数倍の誘殺頭数となっています。注意してください。

・塩尻市では、平年と比べ遅い、4月第4半旬に初誘殺され、4月～6月第3半旬の誘殺頭数は平年と比べかなり少なかった。

・小諸市では、調査開始の3月第1半旬から誘殺され、4月第4半旬から誘殺頭数が増加し、5月第3半旬まで平年値の数倍の誘殺頭数であったが、その後は平年並に推移している。

・上田市菅平高原では、平年と比べやや早い、4月第4半旬に初誘殺され、4月の誘殺頭数は平年と比べやや多かったが、5月は平年並であった。

・原村では、調査開始の5月第1半旬の誘殺頭数は、平年の約5倍の誘殺頭数であった。

・朝日村では、調査開始の4月第1半旬から誘殺され、5月第1半旬から急増し、5月の総誘殺頭数は平年の2.5倍の誘殺頭数であった。

・長野市上ヶ屋では、4月第3半旬から誘殺され、5月の総誘殺頭数は平年の約3倍と多かったが、6月に入り平年並の誘殺頭数となった。



